



「未来につけを残さない政治を目指す」
inoue-nerima.com

Real Intention
リアルインテンション〜本音で語る〜

練馬区議会議員（無所属2期）

幹事長

井上 勇一郎

いのうえ ゆういちろう

YUICHIRO
INOUE

会派役職 練馬会議 幹事長

所属委員会 都市農業・みどり環境等特別委員会副委員長/
企画総務委員会/議会運営委員会

その他 練馬消防団副分団長/練馬区土地開発公社/国民健康保険運営協議会/
青少年育成第三地区委員会顧問/防衛省自衛官募集相談員

向南幼稚園卒園 ▷ 練馬区立向山小学校卒業 ▷ 練馬区立開進第二中学校卒業
▷ 私立豊南高等学校卒業 ▷ 帝京大学法学部卒業

大学卒業後、民間企業を経て国会議員の秘書を務め、平成23年練馬区議会議員選挙に初出馬するも3,023票獲得（3,023票52位）もあと38票届かず惜敗。選挙後、元内閣官房副長官の秘書として国会事務所に復職。新党立ち上げに携わり、党幹事長秘書、党代表秘書、公設第一秘書及び党秘書会事務局長を務める。

平成26年4月、練馬区長死去に伴う練馬区議会議員補欠選挙に出馬するも10,971票にて落選。平成27年4月、練馬区議会議員選挙に本選補選含め3度目の挑戦で（3,349票35位）初当選。平成30年5月に国政政党である民進党が新党(国民民主党)を旗揚げするが、野党が分裂する状況の中、区政に専念すべく新党には参加せず無所属となる。平成31年4月、練馬区議会議員選挙2期目の当選（5,179票12位）

東京都が10年ぶりに新たな動き!

順天堂練馬病院に 救命救急センター（3次救急）の設置を要望。

東京都が令和4年度予算において10年ぶりに三次救急病院を2病院新規に指定することが明らかになりました。私は以前より順天堂練馬病院に三次救急の早期設置を都に求める事を要望してまいりました。

これまで順天堂練馬病院は三次救急の指定要件のひとつである心臓血管外科の新設など医療機能の充実を図られてくるなど、三次救急に必要なソフト、ハードの課題をひとつひとつクリアしてきました。

その中で最大の課題であった救急専用病床20床の確保について、現在の病院敷地は容積率目いっぱい建築されており更なる病床の拡充は現在の建築規制のもとでは困難な状況であり、これまで区は敷地の拡張や容積率の緩和に向けて検討されてきましたが、今回の2病院新規指定に手を上げるためには現在の病床20床を先行で救急専用病床に転用する事しか他に手法はないのが現実です。

今回の東京都の動きに区としてこのタイミングを逸することなく指定を受けられるようにあらゆる可能性を模索し、令和4年度の三次救急病院指定を区として都に働きかけると共に、順天堂練馬病院に対し必要な支援について予算特別委員会にて強く要望をさせていただきました。

そもそも、一次・二次・三次救急とは???

一次救急病院 入院治療の必要がなく、外来で対処し帰宅可能な軽症患者に対応する医療機関です

二次救急病院 入院治療や緊急手術を必要とする患者に対応する医療機関です

三次救急病院 心肺停止、大やけど、脳卒中、心筋梗塞など、二次救急体制では対応できない重症および複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる体制と高度な診療機能をもつ医療機関です



井上 勇一郎

検索

✉ inoue.nerima@gmail.com

■会派控室(練馬区議会練馬会議)

〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6-12-1練馬区役所西庁舎6階
TEL.03-5984-1010 / FAX.03-3993-1197

[編集発行]練馬区議会練馬会議 [頒布責任者]柴 伸哉

■井上 勇一郎 事務所

[向山事務所] 〒176-0022 東京都練馬区向山3-1-32
TEL.03-3926-7146 / FAX.03-5848-2822

令和4年度予算が成立しました。

一般会計当初予算額 2,912億4,480万円



一般会計当初予算額 2,912億4,480万円



福祉や子どもに関する保健福祉費、子ども家庭費、教育費の合計は、1975億1641万円となり、全体の7割(67.8%)を占めています。

- ①保健福祉費 930億2888万円 (31.9%)
生活保護や高齢者・障害者施策、健康づくりなどの経費
- ②子ども家庭費 739億4158万円 (25.4%)
保育所や児童館、児童手当などの経費
- ③教育費 305億4595万円 (10.5%)
小学校や幼稚園、図書館などの経費
- ④総務費 229億7568万円 (7.9%)
防災や広報、電算システムなどの経費
- ⑤区民費 190億304万円 (6.5%)
戸籍・住民基本台帳事務や区民事務所などの経費
- ⑥土木費 133億3532万円 (4.6%)
公園や道路の建設・管理などの経費
- ⑦環境費 129億5875万円 (4.5%)
温暖化対策や清掃リサイクル、緑化推進などの経費
- ⑧地域文化費 68億2895万円 (2.3%)
地域振興や文化・生涯学習、スポーツ振興などの経費
- ⑨都市整備費 47億3299万円 (1.6%)
まちづくりの経費
- ⑩公債費 46億8458万円 (1.6%)
区が借りたお金の返済に充てる経費(元金・利子・手数料など)
- ⑪その他 92億909万円 (3.2%)
議会費、産業経済費、諸支出金、予備費

まちづくりや道路に関する都市整備費、土木費の合計は、180億6831万円となり、全体の6.2%です。

※ 項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。

新型コロナウイルスの発生から2年以上経過しましたがいまだ収束に至らず、この間日本経済は大きな打撃を受け、令和2年度GDPは-4.5ポイントと戦後最大のマイナス成長を記録しました。令和3年度はその反動で若干の持ち直しをしたことにより令和4年度における区の歳入については上振れに転じましたが、感染再拡大や原材料費の高騰、またウクライナ情勢を起因とした原油価格の高騰など、今後さらに歳入が落ち込む可能性は払拭できません。そのことから令和4年度予算についても前年度同様、編成にあたり区民の生命と健康、安心安全を守る事業の推進を最優先とし、不急の事業については大幅な見直しをいたしました。

予算全体額でみると86億67百万円増の2,912億45百万円となり、前年度比3.1%の増となりました。新型コロナ対策として医療提供体制の充実、就労サポートや事業者への支援など74億6900万円の計上をはじめ、令和3年度当初予算の緊急対策として中止・延期した事業について改めて優先順位を精査した上で予算化をされました。コロナ禍で先行き不透明な中でも持続可能な区政運営を行うために、財政指標の動向や社会情勢と注視しつつも、最大限の区民福祉の向上と健全性ある財政運営が行われるよう求め令和4年度予算に対し賛成、可決成立しました。今後本予算が適切に執行されているか注視を致します。これからも区民の皆様の声を区政に届け、それが形になるように職責を果たしてまいります。



練馬区議会議員 井上 勇一郎

令和4年度予算でここが変わる!

医療、高齢者、子ども、防災など 区民の皆様が関わる機会が多い事業の一部をご紹介します

防災・医療の予算

●家庭における災害用簡易トイレの備蓄を推進

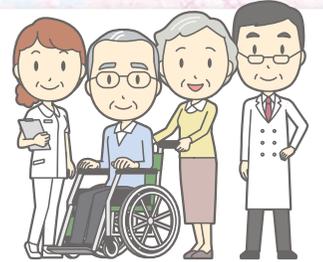
防災訓練やイベントでの災害用簡易トイレセットの配布を通じて啓発し、家庭内での備蓄を一層推進します。

●練馬光が丘病院の移転・改築

令和4年10月に457床の病院として光が丘第四中学校跡地に開院します。高度急性期・急性期機能を充実するとともに、光が丘地域で初となる回復期リハビリテーション病棟を整備し、医療機能をより一層強化します。

●がんと共に生きる区民を支える

がん患者が安心して療養生活を続けられるよう、区、順天堂練馬病院、患者団体、支援者などで構成するがん患者支援連絡会を設置し、患者や家族を支援します。



高齢者福祉の予算

●ひとり暮らし高齢者等の見守りの推進

コロナ禍において、人との接触が難しくなっている中で、家族と離れて暮らすひとり暮らし高齢者などへの見守りを強化します。

●街かどケアカフェの充実

コロナ禍において、ひとり暮らし高齢者等が孤立しないように、交流、相談できる機会を提供できるカフェの増設を図ります。



子どもの予算

●英語教育の充実

中学1年生を対象に、外国人講師のもと英語のみで活動を行う宿泊学習を実施します。
小学校6年生に英語4技能検定の導入します。



●(仮称)都立練馬児童相談所の設置の準備

都の児童相談所による広域的・専門的支援と、区の子ども家庭支援センターによる地域に根差した寄り添い支援が、より緊密に連携できるよう(仮称)都立練馬児童相談所を設置するための準備を進めます。